

二〇二三年七月一日(参加者一九名)

黒南風に尖る明石の門波かな	宏 虎
羅漢様蟻登らせて笑まひけり	はく子
大物の玉虫曳きて蟻の兵	うつぎ
黒南風や昇龍めける磯馴松	なつき
黒南風にたじろぎもせぬ鬼瓦	はく子
蟻の列水一擲に乱れけり	明日香
黒南風や鬱々として沖暗し	わかば
蟻のぼる国宝楼門大柱	よし子
黒南風や砲台跡のある浜辺	わかば
餌の逃げて四分五裂す蟻の列	せいじ
正体のわからぬ程に蟻たかる	明日香
黒南風に軍艦島のゆるぎなし	はく子
迷子めく動きや岬の上の蟻	あひる
蟻の列関守石に関はらず	はく子
手帯を逃れ蟻這ふ三和土かな	よう子

黒南風や淀の川波尖らせて	はく子
黒南風や不眠続きに呆けけり	もとこ
廃線の鉄路を過ぎる蟻の道	智恵子
蟻の列尽きて獲物を遠巻きに	ほんこ
黒南風や岬の草の狂ほしく	素 秀
蟻の列軍靴の音思ひけり	うつぎ
黒南風の町を馳せゆく救急車	満 天
黒南風やスローペースとなる山路	せいじ
行き先のうやむやとなり蟻の列	あひる
黒南風を吸込む河馬の大あくび	素 秀

WEB句会みのる選・二〇二三年七月一日